



土井章弘先生による講義の様子▲

授業紹介

「現代中小企業論」

大学につきものなのが「名物講義」。岡山大学でも現在、さまざまな特色ある授業が行われています。このコーナーでは、意外と知られていないそんな「名物講義」を取り上げます。第一回目は経済学部の「現代中小企業論」です。

▼この授業のねらい

大学で学ぶ学問は、どうしても抽象的な議論になりがちです。そこで学生が学問と現場とを結びつけて考えるきっかけとして、現場で活躍されている中小企業の経営者にお話をさせていただきたいと考えました。実は経済学部では、以前からこのようなボランティア・プロフェッサーによる講義を行っており、今年度から開講した「現代中小企業論」はその四つめの授業科目にあたります。予想以上の受講者が集まり、たいへん好評です。

（コーディネーター・社会学部
化学部 新村聡教授）

▼実際に受講して

5月18日（月）6限に行われた授業を実際に受講させていただきました。職場は貴方の晴れ舞台、病院に於ける理念型経営、「こ」という演題で、講師は（財）操風会岡山旭東病院院長で、岡山県中小企業家同友会の代表理事でもある土井章弘先生です。

先生は自らの体験として、病院の拡張計画の失敗により、倒

産寸前まで追い込まれたこと、

そしてそれを経費削減や収入アップ、サービス向上など、ありとあらゆる方策を用いて克服したことを語られました。先生の口調は穏やかでしたが、それらのエピソードには当事者ならではのリアリティが感じられました。

また、「職員一人一人が幸せで、やりがいのある職場をつくることで組織は成長する。『職場は貴方の晴れ舞台』なのだ」と力強く経営哲学を説く先生の姿からは、経営者としてだけではなく、人間としての深みを感じました。夜間の時間帯に開講

されていますが、社会人学生が、前列の席で目を輝かせて授業に見入っているのが印象的でした。この授業は、現場で活躍されている経営者の話を聞ける貴重な機会として、社会人、そして将来必ず社会人になる学生にとっても、非常に有意義なものであると言えるでしょう。

▼土井先生にインタビュー

—中小企業同友会としてこの講義を行うねらい

中小企業の経営者は非常によく勉強します。勉強しないと生き残れませんからね。大学で講義を行うことが刺激になって、

こちらにも勉強になります。それから、中小企業のことをもっと学生に知って欲しい、ということもあります。日本の企業の99%は中小企業で、大企業はほんの一握りに過ぎません。中小企業が地域経済を支え、文化の担い手となっている実態を知っていただきたいと思います。

また、中小企業の経営者は人間的に豊かな人が多いですから、学生さんには、経営者から夢やロマン、志など人間としての生き方を学びとって、自分の人生にフィードバックして欲しいですね。

—今の学生に感じること

非常にまじめでよく勉強していますね。私の頃はもったいぶりしてましたよ（笑）。ただ、最近の学生は、あまり自分の専門以外の本を読んでないように思います。もっといろいろなことに興味を持って、読書して欲しいですね。